



令和5年度 見附市立今町中学校 学校たより

〈第7号〉 令和5年9月29日

TEL 66-2371 FAX 66-6846

ホームページは「今町中学校」で検索

E-mail imachu@mitsuke-ngt.ed.jp

# 石の門



9月9日（土）たくさんの声援のもとやり切った体育祭

自分たちでやり遂げたことを自信に

校長 星野 晴重

「生徒が全てやっているんですね。すごいですね。」

体育祭を観戦されていた来賓の一人が私にそう話しかけてくださいました。

思えば感染症対策のためしばらく来賓をお呼びしていなかったのが、中学生が自分たちで運営する姿を見ていただくのは4年ぶりでした。

体育祭では、両軍ともに3年生のリーダーを中心に応援、そして競技に軍一丸となって頑張りました。3年生の競技となれば、1・2年生が自主的に応援しています。一人一人が懸命に応援し、競技する姿、そして協力する姿、素晴らしかったです。

そしてそれだけでなく、場内アナウンス、司会進行、準備、審判など全ての運営を生徒がしています。事前の計画や練習、準備、さらに終了後の後片付けや振り返りなどを含め、まさに体育祭丸ごと、生徒が主体となって作り上げているのです。

この体育祭を通した学びはとても大きいものがあります。軍の勝利のため、体育祭の成功のために一人一人が主体的に、そして周囲のあらゆる人と協力して活動しました。それは、普段の授業やテストではなかなか得ることが難しい経験です。フィナーレの写真撮影での盛り上がりにも自分たちで成し遂げた成就感や満足感が表れていたように思います。体育祭を通して、一つ自信を付けた今中生の今後の更なる活躍と成長を期待しています。

## 県央地区新人大会結果 どの部も健闘しました！

9月21日、県央地区新人大会が行われました。時折雨にあたる、屋外の競技にとってはあいにくのコンディションとなりました。そんな中、どの部も持てる力を十分に発揮しました。（水泳は9月7日に中越地区大会として行われました。陸上競技は長岡・県央地区大会として10月4日に行われます。）

### 【男子バスケ】

1回戦 対 燕中等 勝  
2回戦 対 三条二中 負

### 【卓球男子】

＜団体戦＞ 3位  
予選リーグ 対 栄中 勝  
対 燕中 勝  
決勝T 対 加茂葵中 勝  
対 田上中 負  
3位決定戦 対 見附西中 勝  
＜個人戦＞ 1年生の部 優勝

### 【女子バレー】

対 分水中 負  
対 三条一中 負

### 【バドミントン】

女子シングルス 2回戦敗退

### 【男子ソフトテニス】

＜団体戦＞ 対 見附中 負  
対 分水中 負  
対 吉田中 負  
対 三条一中 負

### 【女子ソフトテニス】

＜団体戦＞ 2位  
対 見附南中 勝  
対 見附西中 負  
対 見附中 勝

### ＜個人戦＞

3位  
3位

### 【水泳】

男子 200m バタフライ 1位  
男子 400m 自由形 5位  
女子 100m バタフライ 8位  
女子 200m バタフライ 6位

## 体育祭の振り返りと合唱コンクールに向けて（風雄会朝会）

9月19日の風雄会朝会で、体育祭の振り返りと合唱コンクールに向けてスローガン発表と発表順決めが行われました。

体育祭の生徒アンケート結果発表とメッセージ交換が行われ、両軍チームリーダーから大成功の体育祭を振り返っての話がありました。



『今町中学校地域連携フェスティバル風雄祭』を10月14日（土）に行います。その日は、午前アルカディアの大ホールで合唱コンクールと芸能発表、午後は中学校に会場を移してNewワンデイマッチを行います。合唱コンクールでは、「全力心奏」のスローガンのもとどのクラスも心を合わせて心のこもった歌声を披露してくれるものと期待しています。また、今年の芸能発表は「今町風民謡」です。Newワンデイマッチは全7クラスと保護者チームを含めた8チームがニュースポーツで対戦を楽しみます。

## 見附警察署生活安全課の講話 10月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」

9月26日の全校朝会で、見附警察署の生活安全課の方から、SNS等のインターネットを介した誹謗中傷などのいじめに関わっての話をいただきました。表情やしぐさ、声がなく、短い文章や言葉で送られてくるものには、それだけで、送る側と受け取る側とのとらえに違いがあります。自分の送った言葉で相手を傷つけていないかしっかり確認すること、もし悪口ととらえられるものを送っていたことがあればすぐにやめること。また、ひとたび事件となれば、自分の端末では消えていても捜査して内容を確認できることなど警察の方ならではの話を聞き、SNSの利便性に潜む危険性とその影響の大きさについて理解を深めました。全ての生徒がいじめの加害者にも被害者にもならないために学校、家庭、地域が一丸となり、社会全体で「いじめをしない、許さない、見逃さない」意識を高めていきたいものです。

